

V 健やかな「都」をつくる 15 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実 (58) 県立医大の移転、医大病院施設・新外来棟の整備

R5 予算案 13,234,600千円

ここまで良くなりました

県立医科大学の**新キャンパス先行移転分**(教養教育部門及び看護学科の施設)の整備を実施しています。

○整備コンセプト

藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化する

OR4年度は、R3年度に引き続き造成工事を行い、新たに建築工事に着手

新キャンパス継続整備及び県立医科大学附属病院新外来棟整備において必要な機能等について検討しています。



新キャンパス敷地

現キャンパス敷地

もっと良くするために

令和7年度中の**移転・開学**に向けて、造成工事及び建築工事を進めます。

○新キャンパスの造成工事及び建築工事等を実施

令和3年度～令和5年度：造成工事

令和4年度～令和6年度：建築工事

現キャンパス及び県立医科大学附属病院の機能充実を進めます。

○令和13年頃の新外来棟竣工を目指し、整備基本計画策定等を実施

○現キャンパスの耐震応急工事

令和元年度～令和6年度：耐震応急対応工事

※新外来棟は、現キャンパス敷地の南側に設置



新キャンパス先行整備の整備イメージ

新外来棟等附属病院の整備イメージ

令和5年度予算案 13,235百万円

1. 県立医大の移転(12,432,546千円)

新キャンパス先行整備

- ・造成工事、建築工事 等

<スケジュール>

令和元年度～令和3年度：文化財発掘調査、造成・建築設計

令和3年度～令和5年度：造成工事

令和4年度～令和6年度：建築工事

※令和7年度中 移転・開学予定



新キャンパス整備イメージ

2. 医大病院施設・新外来棟の整備(802,054千円)

現キャンパス及び県立医科大学附属病院の機能充実

- ・耐震応急対応工事
- ・新外来棟整備基本計画策定 等

<スケジュール>

令和元年度～令和3年度：臨床医学研究棟除却設計・工事

令和元年度～令和6年度：耐震応急対応工事

令和5年度～令和6年度：新外来棟整備基本計画策定

※令和13年頃の新外来棟竣工を目指す



新外来棟等附属病院の整備イメージ

V 健やかな「都」をつくる 15 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実 (59) 西和医療センターの移転・再整備の検討

R5 予算案 162,501千円

ここまで良くなりました

西和医療センターは、西和地域における中核病院として、循環器疾患や小児科をはじめとする二次救急の受け入れにおいて重要な役割を果たしています。一方で、建設から約40年経過し、施設の老朽化が進んでおり、高齢化や人口減少が進む中、**将来に向けた西和医療センターの機能や運営のあり方について検討**しています。

OR4年度は、基本構想を策定し、全体方針、部門別計画、災害や感染症への対策計画、施設整備計画、事業収支計画の検討など、整備基本計画の策定作業を実施

・新西和医療センターがめざす姿
(基本コンセプト)重症急性期を担う基幹病院

・整備の検討
現地建替と移転建替を比較検討し、公共交通機関によるアクセスに優れる等メリットが大きいJR王寺駅南側への移転建替を基本として検討



西和医療センター移転整備の賛成(6/4/22)

もっと良くするために

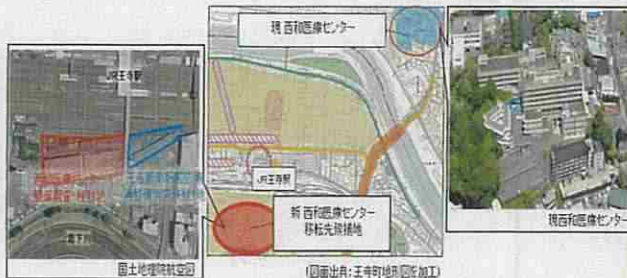
病院機構と連携して、JR王寺駅南側への移転・再整備に向けた取組を進めます。

○令和5年度までに整備基本計画を策定

・診療部門別基本計画、施設・設備整備計画、収支計画等の検討

○移転建替に向けた調査を実施

・用地取得に必要な用地測量、補償調査等
・新病院へのアクセス機能確保等に関する調査・検討



○新西和医療センターについて令和13年頃の開院を目指した取組を実施

病院本館南病棟の耐震応急対応のための工事をを行います。

令和5年度予算案 163百万円

1. 西和医療センターの移転・再整備の検討 (99,701千円)

(1) 新西和医療センター整備基本計画策定(【県】28,000千円)

- ①令和4年度に策定した基本構想を踏まえ、
全体方針や部門別計画等のあり方検討を行い、基本計画を策定
→ 新西和医療センターの**医療機能や規模、施設整備の内容を明確化**



(2) 新西和医療センター整備調査(【県】7,601千円、【病院機構】64,100千円)

- ②JR王寺駅南側への移転建替に向けたアクセス機能確保等に関する調査
- ③JR西日本及び王寺町所有地の取得に必要な用地測量及び補償調査等

	R3	R4	R5	R6
県	基本構想策定	基本計画策定、アクセス機能確保調査		
病院機構		用地測量、不動産鑑定等	補償調査	基本設計

令和13年頃の開院を目指した取組を実施

2. 西和医療センター施設耐震化 (【病院機構】62,800千円)

本館・南病棟の耐震応急対応工事

V 健やかな「都」をつくる 17 だれもがいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

(64) 奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討

R5 予算案 243,920千円

ここまで良くなりました

令和4年8月に奈良県準備委員会の第2回常任委員会、第2回総会を開催し、大会の準備総合計画などが決定される等、令和13年の大会開催に向けた準備が着々と進められています。

大会開催に必要なスポーツ施設の整備を目指し、検討を進めてきました。

○橿原市とR4年10月に「覚書」を締結し、事業推進のための協議を開始

○R4年10月に「大和平野中央田園都市構想」で川西市、田原本町に整備する施設を発表

○総務企画専門委員会、競技運営専門委員会を設置、運営(計4回開催)

第2回国民スポーツ大会・第4回全国障害者スポーツ大会奈良県準備委員会



第2回総会 第2回常任委員会



川西市 テニス場整備イメージ 田原本町 球技専用スタジアム整備イメージ



もっと良くするために

円滑な大会開催のための準備はもとより、令和5年3月制定の「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」に基づき、大会を契機としたスポーツ推進を支える人材の育成やスポーツ拠点施設の整備など、持続的なスポーツ振興や県民の健康増進、地域活性化につながる環境づくりを進めます。

○奈良県準備委員会の運営

- ・大会基本構想の検討
- ・競技会場地の選定
- ・競技役員養成支援



市町村、競技団体等関係のセミナー開催(本定町あらかしホール)

○畷傍山周辺エリアにおける整備(R11年)

第1種陸上競技場、多機能複合型アリーナ等の整備のための測量・調査

○大和平野中央田園都市構想における整備(R12年)
奈良県にふさわしい機能、規模の検討と民間活力の導入



陸上競技場 (R4新木野村総合体育館) アリーナ(総合体育館)

○トップアスリート等の養成

○開催に向けた機運の醸成

令和5年度予算案 244百万円

令和5年3月「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」制定予定 (「奈良県スポーツ推進計画」(令和5年度～令和9年度)策定予定)

1. スポーツ拠点の整備推進(227,200千円)

(1) 畷傍山周辺エリアにおけるスポーツ施設の整備(94,600千円)

(2) スポーツ拠点施設の整備推進(132,600千円)



<イメージ>川西市 テニスコート



<イメージ>橿原市 第1種陸上競技場と多機能複合型アリーナ



<イメージ>田原本町 球技専用スタジアム

2. 奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備(16,720千円)

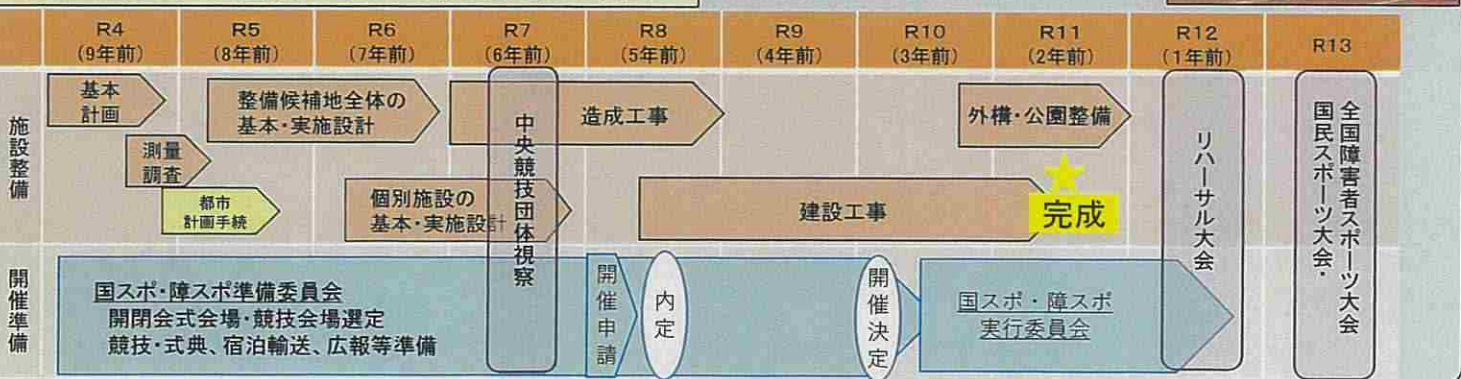
(1) 奈良県準備委員会の運営(9,600千円)

(2) (新)未来のトップアスリートの発掘・育成(4,400千円)

(3) 市町村連携、機運醸成に向けた取組等(2,720千円)



<イメージ>アスリートの発掘



V 健やかな「都」をつくる 17 だれもがいつでもどこでもスポーツできる環境づくり (65) まほろば健康パークの機能強化

R5 予算案 80,058千円
債務負担行為 7,352,205千円

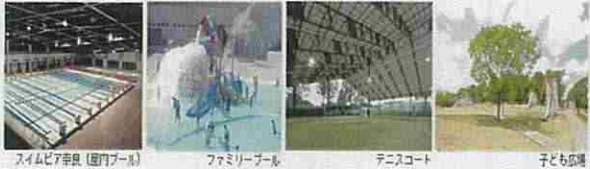
ここまで良くなりました

浄化センター公園を再整備し、平成26年度に「まほろば健康パーク」としてリニューアルオープンしました。年間30万人以上(令和3年度)の皆様にご来園いただいています。

〇スイムピア奈良50m屋外プールの観客席・屋根根等整備(R3年6月完成)



〇その他施設充実

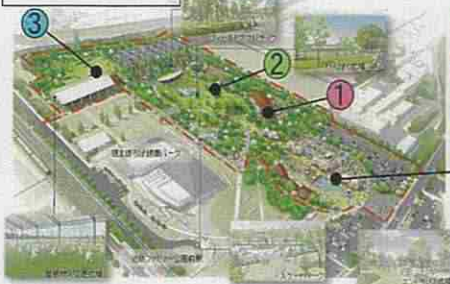


もっと良くするために

隣接地(10.8ha)において、令和9年度の開園をめざし、民間活力導入による「みんなが楽しみ、子どもが遊びや運動を通して成長する公園づくり」に取り組みます。

〇民間事業者との事業契約(R5年度～R23年度)

新たな公園のイメージパース



〇ゾーン別

- ① 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン(6ヶ月～5歳)
- ② 子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン(3歳～10歳)
- ③ 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン(8歳～15歳)
- ④ エントランスゾーン

事業者間で示す施設等の要求水準に基づき、民間事業者がノウハウを活かし整備を行うものであり、施設整備等に関する内容により変更する可能性があります。

〇開園に向けた関連施設整備

〇周辺プロジェクト(中央卸売市場再整備事業等)との連携検討

令和5年3月に「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」を制定するとともに、「第2期奈良県スポーツ推進計画」(令和5年度～令和9年度)を策定します。

令和5年度予算案 80百万円

【債務負担行為 7,352百万円】

① 令和5年3月「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」制定予定
(「奈良県スポーツ推進計画」(令和5年度～令和9年度)策定予定)

② まほろば健康パークの公園区域の拡張

R9開園を目指し、PFI方式により民間のノウハウを活用し公園を整備

R5: 民間活力導入

① 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン
対象年齢:6ヶ月～5歳



② 子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン
対象年齢:3歳～10歳



③ 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン
対象年齢:8歳～15歳



④ エントランスゾーン



VI 智恵の「都」をつくる 18 教育の振興

(66) (仮称)奈良県立工科大学の設置推進、奈良県立大学の教育充実

R5 予算案 1,081,248千円

ここまで良くなりました

(仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討を開始しました。

奈良県立大学の教育環境の充実を進めています。

OR4年1月に有識者会議を立ち上げ、計4回にわたり専門家から意見聴取
OR4年11月から、具体的な研究・教育分野等の検討を開始

○クラブハウスの整備、(仮称)教育研究棟の設計を開始
OR4年4月 奈良県立大学附属高等学校 開校



有識者による検討の様子



県立大学附属高等学校 第1回入学式

もっと良くするために

(仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討を推進します。

奈良県立大学の教育環境及び高大接続の充実を進めます。

○有識者の意見を踏まえ、研究・教育分野、教員組織体制、教員確保等の検討

○奈良県立大学で様々な業務運営を実施

○地域社会の教育ニーズや、企業等の人材確保及び技術支援に関するニーズの調査

・少数対話型教育(コモンズ制)により、地域に貢献できる優れた人材を育成
・R7年度からの附属高校特別推薦生の受入を見据えた教育体制の検討

○県内の既存施設等を活用し、大学院のキャンパス接補地の確保

○県立大学及び附属高等学校の就学支援

※R8年度を目途に大学院を先行設置し、三宅町に整備予定の新キャンパスにおいて学部を併設(R13年度目途)

○クラブハウスや(仮称)教育研究棟の施設整備



<イメージ> 三宅町に整備予定の新キャンパス



クラブハウス



(仮称)教育研究棟

令和5年度予算案 1,081百万円

1. (仮称)奈良県立工科大学の設置に向けた検討(32,769千円)

(1) 大学の設置に向けた有識者会議(20,440千円)

① 大学構想の実現に向けた**研究教育分野、教員組織体制等の具体的な検討**

(2) 大学設置認可申請に向けた検討(12,329千円)

② **R8年度の大学院先行設置を目指し、地域の教育ニーズや地元企業の人材確保・育成ニーズ等を調査**



<イメージ>三宅町に整備予定の新キャンパス

2. 奈良県立大学及び附属高校の教育環境充実(1,048,479千円)

(1) 第2期中期目標達成に向けた取組の支援(791,104千円)

③ 運営費交付金
・大学の業務運営に必要な経費の財源に充てるための交付金
④ 中期目標関連補助金
・中期目標達成のため実施する事業に対し補助
目標項目：教育、研究、地域連携、国際交流、法人運営



奈良県立大学附属高等学校(令和4年4月開校)

(2) 県立大学及び附属高校の就学支援(97,909千円)

⑤ 県立大学授業料・入学金の減免に対し補助
⑥ 附属高等学校就学支援金を支給



<イメージ>奈良県立大学クラブハウス棟

(3) 県立大学の施設整備(159,466千円)

⑦ **クラブハウス棟の建築**
⑧ **(仮称)教育研究棟の基本・実施設計**

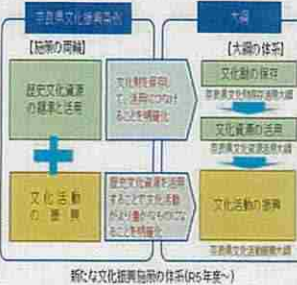
VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (73) 文化の振興

R5 予算案 294,727千円
債務負担行為 15,683,000千円

ここまで良くなってきました

奈良県文化振興条例(令和3年4月施行)を基に、奈良県文化振興大綱の改定に取り組んできました。

令和4年2月、JNOと連携協定を締結し、本県における上質な音楽の裾野を広げる取組を展開しています。



JNO(阪田幹平氏が代表を務めるジャパン・ナショナル・オーケストラ株式会社)との連携協定締結

令和3年4月「奈良県文化振興条例」制定 (「奈良県文化活動振興大綱」(令和5年3月)改定予定)

1. ムジークフェストなら2023の開催

(96,600千円)

- ①(新)四季を通じた開催
- ②社寺での公演
- ③奈良県コンベンションセンターでの公演
- ④なら歴史芸術文化村での幼児向け公演



第10回記念公演

2. JNO等と連携した取組の本格展開

(21,450千円)

- ⑤JNOの演奏家による県内小中学校・高校・(新)大学での演奏指導
- ⑥(新)奈良の社寺、自然とクラシック音楽を融合した動画を撮影・配信
- ⑦(新)年末コンサート



JNOとの連携協定

3. こどもを音楽で育てる取組の推進

(17,937千円)

- ⑧特別支援学校を対象としたコンサート
- ⑨ヴァイオリン等を活用した幼児向け音楽プログラム
- ⑩県立ジュニアオーケストラ



こどもを音楽で育てる演奏会

4. 文化会館のリニューアル(12,786千円、

R6~8債務負担行為15,683,000千円)

- ⑪奈良県文化会館を音楽を軸とした舞台芸術の殿堂として再整備(令和8年度中のオープンを目指す)



<イメージ>文化会館整備

もっと良くするために

「音楽の都」奈良県～四季を問わず、まち中が音楽で溢れる奈良県～を目指します。

○四季を通じたムジークフェストなら ○JNO等と連携した取組の本格展開



第10回記念公演の様子

未来の演奏家の育成 音楽を活用した奈良の魅力発信

年末コンサート

○こどもを音楽で育てる取組



こどもを音楽で育てる演奏会

ヴァイオリン等を活用した音楽プログラム

県立ジュニアオーケストラ

文化会館整備のイメージ

奈良県文化活動振興大綱(令和5年3月改定予定)等に基づき、文化振興を進めます。



美術館開館50周年記念特別展

奈良県みんなでのしむ大芸術祭

文化活動継続への支援

令和5年度予算案 295百万円 [債務負担行為15,683百万円]

5. 奈良県みんなでのしむ大芸術祭の開催

(64,176千円)

- ⑫地域・社寺との連携イベント
- ⑬ドライブインシアター
- ⑭ユースシネマプロジェクト
- ⑮国際音楽交歓コンサート



<イメージ>パンフレット

6. 県立美術館展覧会の開催と(新)美術館開館50周年記念特別展の開催 (77,578千円)

- ⑯特別展(春)「田中一光展」(仮称) (4/22~ 6/11)
- ⑰企画展(夏)「富本憲吉展」(仮称) (7/8 ~ 9/3)
- ⑱特別展(冬)「不染鉄展」(仮称) (1/13~ 3/10)
- ⑲(新)新たなギャラリーを活用した展示
- ⑳(新)美術館開館50周年記念特別展「仮面芸能の系譜ー仮面芸能のふるさと奈良ー」(9/30~11/12)



<イメージ>展示品

7. 文化活動継続への支援

(4,200千円)

- ㉑(新)文化芸術活動継続支援補助金
奈良県文化会館の休止期間中に県内会場で実施する芸術文化活動を支援

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興

(74) 文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開

R5 予算案 123,730千円

ここまで良くなりました

日本博のスキームを通して、奈良県の歴史文化資源の魅力を全国に発信し、良質な誘客、周遊を推進してきました。

〇古代の都再現・復元プロジェクト
・秋季特別展「宮廷苑池の誕生」講演会
・発掘調査映像公開

2019年に欧州、2022年に中国清華大学にて展覧会を開催し、奈良の歴史文化の魅力を海外に発信しました。



歴史的な記念年等に合わせ歴史文化資源活用の主要テーマを設定し、多彩な事業展開により、多くの方に「記紀・万葉」になじみを持っていただきました。

〇これまでの主要テーマ

- 2012年 古事記完成 1300年
- 2020年 日本書紀完成 1300年
藤原不比等没後 1300年
- 2021年 聖徳太子没後1400年
- 2022年 壬申の乱 1350年

〇これまでの主な事業

- ・講演会
- ・ウォークイベント
- ・冊子制作



もっと良くなるために

「文化資源活用大綱」に基づき、奈良県の歴史文化資源の活用を推進します。

〇有識者の意見を基に、県内外をはじめ、国外の方にも「歴史文化資源」の本質的価値が分かるストーリーを発信

「奈良」を辿り、「日本」を知るをテーマに、本県が持つ歴史文化資源の魅力を発信し、誘客、周遊を促進します。

歴史文化資源との対話を通じ、歴史文化、その成立過程や時代背景などを、幅広く考えて感じていただく取組を充実していきます。

〇講演会や体験イベントの開催
〇映像制作、発掘現場公開



R5以降の歴史テーマ

- 2023年 天武・持統天皇とその時代 (天武天皇即位1350年)
- 2024年 天武・持統天皇とその時代 (藤原京遷都1330年)
- 2025年 「飛鳥・藤原」世界遺産登録



海外での次期展覧会の開催に向け、歴史文化資源の国際展開の検討を進めます。

〇中国清華大学との交換展 (奈良県内開催)等の検討



天武・持統天皇とその時代事業を展開します。

- 〇歴史テーマを題材に、講演会やイベントを開催
- 〇SNSやHPを活用した広報



文化施設を活用し、文化観光を推進します。

〇県全域で文化観光拠点施設や世界遺産等を活用した事業を展開し、地域活性化を推進

令和5年度予算案 124百万円

1. 「奈良県文化資源活用大綱」に基づく歴史文化資源の活用推進(6,000千円)

- ① 有識者の意見を基にした、「歴史文化資源」の本質的価値がわかるストーリーの発信

2. 「奈良県地域計画(いかす・なら地域計画)」に基づく地域活性化に資する文化観光推進(97,568千円)

(1) 日本博事業への参加 (60,000千円)

テーマ 国家成立の原点「奈良」を辿り「日本」を知るプロジェクト+発掘現場・修理現場の公開



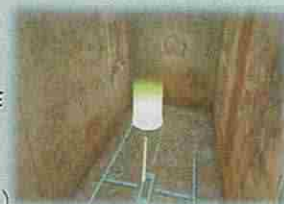
- ② 日本国家の礎 天武天皇ゆかり地連携プロジェクト
- ③ 天武・持統天皇をテーマとする映像制作及び上映会等の開催
- ④ 発掘現場・修理現場の公開 ほか



富本銭づくり体験

(2) 文化施設を活用した文化観光の推進 (37,568千円)

- ⑤ 県内世界遺産等のAR・VR映像コンテンツ制作
- ⑥ 万葉百科データベース (万葉文化館)
- ⑦ 古民家活用VRコンテンツ制作 (民俗博物館)
- ⑧ デジタルミュージアム (橿原考古学研究所附属博物館)

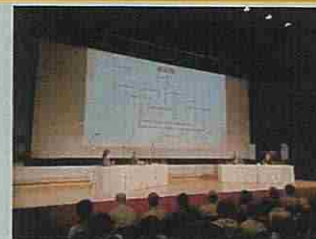


高松塚古墳 体験型VRコンテンツ

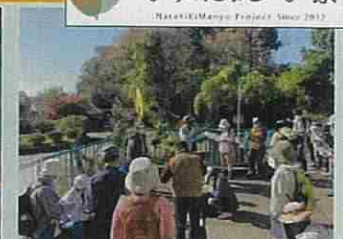
3. なら記紀・万葉プロジェクト等の継続的な展開(16,162千円)

(1) なら記紀・万葉プロジェクトの推進等

- ⑨ (新) 天武・持統天皇とその時代(天武天皇即位1350年)を主要テーマとする講演会の開催、HPの作成、SNS等による情報発信、ノベルティの制作
- ⑩ 奈良大学と共催する全国高校生歴史フォーラム



壬申の乱1350年講演会



壬申の乱1350年ウォークイベント



4. 欧州・中国での開催ノウハウを活かし、奈良の歴史文化を発信する、新たな展覧会を実現(4,000千円)

(1) 次期展覧会の開催に向けた検討

- ⑪ 中国清華大学との交換展(奈良県内開催)、海外での展覧会等の検討



「日中交流二千年 アジアをつなぐ美と精神」展 (清華大学芸術博物館)

VI 智恵の「都」をつくる 19 文化の振興 (77) なら歴史芸術文化村の活用

R5 予算案 717,742千円

ここまで良くなってきました

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村以来、歴史・芸術分野の体験プログラム等が好評であることに加え、「道の駅」のにぎわい等により、連日、多くの方に来訪いただいています。



もっと良くするために

歴史文化資源を活用した対話重視の体験や、子ども達の自尊心、利他心を養うことにつながる創作活動の場となるような取組を積極的に展開します。また、文化村を核としたにぎわいが広く波及するよう、周辺地域を一体として捉えた取組を展開します。

○歴史文化資源の継承と活用

・文化財修復作業の公開・解説



文化財の修復作業 宇土屋による解説ツアー

・文化財に親しむための企画展、体験プログラムの実施（仏像制作体験、企業との連携による体験コーナー）



体験プログラム

○芸術文化活動の振興

・幼児向けアート・音楽プログラムの展開



こども参加型音楽コンサート

・幼児向けアートプログラムの地域展開のための人材育成

・「NARA」をテーマにしたアート表現を世界から募集・発信

・文化村スタッフとアーティストの協働による作品の制作・展示



アート作品の展示

地域のにぎわいと活力を創出する施設となるよう、なら歴史芸術文化村の活用を図るとともに、来村者の声に耳を傾け、おもてなしの向上を図ります。

○にぎわいの創出とおもてなしの向上

・観光・産業等の分野との連携



農と食の情報発信セミナー

・にぎわいイベントの開催



駐車場を活用したイベント開催

・おもてなしの向上



植栽によりおもてなし環境のイメージ

令和5年度予算案 718百万円

1. 歴史文化資源の継承及び活用

(171,251千円)

- ①文化財修復作業の公開・解説
- ②文化財の企画展、体験プログラム
 - ⑨ 仏像制作体験、企業と連携した体験コーナー
- ③公開・解説を行う県指定文化財に対する補助
- ④修復対象文化財のビフォーアフターの記録映像
- ⑤文化財の細部の構造等を観察できるVR映像等を制作



体験プログラムの様子

2. 芸術文化活動の振興 (56,785千円)

- ⑥幼児向けアート・音楽プログラム
- ⑦ ⑨ 幼児向けアートプログラムの地域展開・人材育成
- ⑧ ⑨ 「NARA」をテーマにした芸術作品を世界から募集・発信
- ⑨ ⑨ 文化村スタッフとアーティストの協働による作品の制作・展示
- ⑩アーティスト主催ワークショップ
- ⑪能楽体験教室
- ⑫ミュージックフェストなら



こども参加型音楽コンサート

3. にぎわいの創出とおもてなしの向上 (489,706千円)

- ⑬食と農の情報発信、セミナー・フェア
- ⑭伝統工芸ワークショップ
- ⑮奥大和地域の特産品を活用したワークショップ
- ⑯こども食堂との連携



伝統工芸ワークショップ

- ⑰駐車場を活用したにぎわいイベント
- ⑱ ⑲ 植栽等によるおもてなし環境の整備
- ⑲ ⑲ 来村者のためのベンチ等の整備
- ⑲農産物の直売、レストラン等
- ⑳アクセスバス運行



<イメージ>おもてなし環境の整備

VI 智恵の「都」をつくる 20 海外との交流展開 (78) 国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展

R5 予算案 119,451千円

ここまで良くなりました

お互いに学び合う姿勢で国際交流を続けてきています。

○多くの海外地方政府と友好提携を締結

中国・陝西省(H23年9月)、韓国・忠清南道(H23年10月)、スイス・ベルン州(H27年4月)、ウズベキスタン・サマルカンド州(R3年12月)



サマルカンド州との協定書署名式 (R3年12月)

東アジア地方政府会合を2010年に設立し、地方政府が共通する課題について、学び合い、交流を深めてきました。

○会員は設立時の6カ国

40地方政府から7カ国75地方政府に増加

○第11回会合をインドネシア・西ジャワ州で開催、第12回は中国・山東省臨沂市での開催が決定



第11回東アジア地方政府会合(インドネシア・西ジャワ州開催)



第5回アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム

○中国・清華大学と覚書を締結(R元年8月)、NAFICとスペイン・バスク州の料理専門大学BCCと連携協定を締結(R4年12月)



清華大学芸術博物館における観覧会 (R4年9月~12月)

もっと良くするために

奈良県の国際交流の強化・拡大を図ります。

○友好提携地方政府への訪問団等の派遣

<派遣先>
ウズベキスタン・サマルカンド州
スイス・ベルン州
韓国・忠清南道(「大百済典」への参加等)

○友好提携地方政府からの訪問団を受入

○中国・清華大学との交流

・専門家及び学生等の交流を実施
・交換展(奈良県内開催)の実施を検討

○海外地方政府との新たな友好提携推進

○奈良県フォレスターアカデミーの学生がスイスの森林管理を学ぶため、リース林業教育センターと交流事業を実施

○NAFICとBCC(バスクカリナリーセンター)との連携協定に基づき、交流事業を実施

東アジア地方政府会合の充実発展を図るとともに、アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム等の開催に向けて取り組めます。

○中国・山東省臨沂市で開催される第12回東アジア地方政府会合へ奈良県代表団を派遣



○会員地方政府主催の分科会の開催を支援

○アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラムの開催に向けた準備

○日本アスペン研究所と連携し、NAFIC附属セミナーハウスでのセミナー開催を支援

令和5年度予算案 119百万円

1. 友好提携地方政府等への訪問団の派遣・受入等 (28,418千円)

- ①ウズベキスタン・サマルカンド州、スイス・ベルン州に訪問団を派遣
- ②(新)韓国・忠清南道で開催される大百済典へ参加
- ③韓国・忠清南道へ奈良県青年を派遣
- ④中国・陝西省やウズベキスタン・サマルカンド州から、代表団や学生などの訪問団を受入



ウズベキスタン・サマルカンド州との友好提携締結

3. スイス・リース林業教育センターとの交流 (24,614千円)

- ⑦奈良県フォレスターアカデミーの授業として、リース校でスイスの森林環境管理を学習
- ⑧リース校から実習生受け入れ
- ⑨アカデミー名誉校長(リース元校長)からのアドバイス等



リース林業教育センターとの連携協定締結

5. 第12回東アジア地方政府会合等の開催 (33,509千円)

- ⑪中国山東省・臨沂市で開催される第12回会合へ奈良県代表団を派遣
- ⑫会員地方政府主催の分科会の開催を支援
- ⑬アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラムの開催に向けた準備
- ⑭日本アスペン研究所と連携し、NAFIC附属セミナーハウスでのセミナー開催を支援



りんぎ 臨沂市との合意覚書締結

2. 中国・清華大学との交流 (25,379千円)

- ⑤専門家及び学生等の交流を実施
- ⑥中国・清華大学との交換展(奈良県内開催)の実施を検討



清華大学芸術博物館 展覧会(R4.9.24-12.4開催)

4. NAFICとBCCとの連携推進 (7,531千円)

- ⑩世界的に著名なスペインの料理専門大学BCC(バスクカリナリーセンター)講師の特別講義等



BCCとの連携協定締結

VII 豊かな「都」をつくる 21 農業・農地・農村・食と農の振興

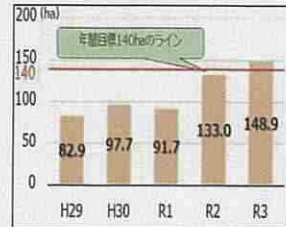
(79) 農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備

R5 予算案 406,464千円
 債務負担行為 220,000千円
 R4・2月補正予算案 114,937千円

ここまで良くなってきました

担い手への農地集積や荒廃農地の発生防止等の農地有効活用に取り組み、農地マネジメントを推進しています。

○なら担い手・農地サポートセンターによる、農地の出し手から担い手等の受け手へのR3年度のマッチング実績は148.9ha



○「人・農地プラン」の策定
 地域農業の在り方と農地利用の将来像を明確に示す「人・農地プラン」をR3年度までに353集落で策定

特定農業振興ゾーンの整備を進めてきた結果、3市4町10地区で設定しました。

○集中的かつ優先的に施策を実施し、農地の有効活用と生産性の向上による農業振興を図る区域として、特定農業振興ゾーンを設定



○特定農業振興ゾーン設定地区

市町村	地区名	主要施策	主眼課題
宇陀市	伊那佐東部	有機農業の推進、高収益作物転換への支援	農業従事者の減少、生産性の向上
五條市	丹原	農地集積による規模拡大、基盤整備、土地改良施設の更新	農地集積の促進、生産性の向上
田原市	本町	高収益作物の転換、販路の確保	高収益作物の転換、販路の確保
宇陀市	伊那佐東部	有機農業の推進、高収益作物転換への支援	農業従事者の減少、生産性の向上
五條市	丹原	農地集積による規模拡大、基盤整備、土地改良施設の更新	農地集積の促進、生産性の向上
田原市	本町	高収益作物の転換、販路の確保	高収益作物の転換、販路の確保

もっと良くするために

「人・農地プラン」の策定を推進し、農地有効活用に向けた取組を継続して行います。関係機関が連携し、後継者不在の農地に対しても、マッチングを一層推進します。

○農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積



なら担い手・農地サポートセンター(サポセン)のマッチングによる農地の有効活用

○農地の有効活用活動を行う農業委員会を支援



○荒廃農地を再生する担い手への支援

目標としていた累計10地区の設定が2年前倒しで達成したことから、今後は、累計12地区の設定に向けて推進します。スマート農業等にも取り組み、設定10地区での農業振興施策をより一層推進します。

○区画の大規模化、農地の利用集積・集団化、荒廃農地の解消・発生防止



○区画の大規模化により効率化、高収益作物転換

○有機農業の推進、高収益作物転換への支援

○多様な担い手の確保

○稲WCS(稲発酵粗飼料)のモデル構築の実証

○大和平野中央田園都市構想川西町下永地区(特定農業振興ゾーン)の整備

1. 農地マネジメントの取組 (146,582千円)

- ①担い手への農地集積
 なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手、受け手のマッチング
- ②荒廃農地を再生する担い手への支援
 農地に適した作物の振興を図る農業者に対し支援
- ③農地を有効利用する農業委員会を支援
 農業委員会による遊休農地の発生防止、担い手への農地集積等を支援

【マッチング事例】



2. 特定農業振興ゾーンの整備

(259,882千円、R6債務負担行為220,000千円、R4・2月補正予算案 114,937千円)

- ④農地集積による規模拡大、基盤整備、土地改良施設の更新
 【五條市丹原、広陵町百済川向、宇陀市伊那佐東部 他】
- ⑤有機農業拡大、化学農薬・肥料の低減、スマート農業等の省力化技術導入、高収益作物転換に対する支援
 【宇陀市伊那佐東部 他】
- ⑥集落営農組織や新規就農者への支援金の交付等
 【五條市丹原、田原本町法貴寺 他】
- ⑦(新)WCS(飼料用イネ)生産拡大のモデル構築、展示圃場の設置【五條市丹原】
- ⑧大和平野中央田園都市構想川西町下永地区の整備



特定農業振興ゾーン設定地区

市町村	地区名	テーマ	主眼課題
宇陀市	伊那佐東部	イネコシの振興	農業従事者の減少、生産性の向上
五條市	丹原	イネコシ等の振興	農地集積の促進、生産性の向上
田原市	本町	高収益作物の振興	高収益作物の振興、販路の確保
宇陀市	伊那佐東部	有機農業、花き等の振興	農業従事者の減少、生産性の向上
五條市	丹原	イネコシの振興	農地集積の促進、生産性の向上
田原市	本町	高収益作物の振興	高収益作物の振興、販路の確保

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 21 農業・農地・農村・食と農の振興 (80) 中央卸売市場の再整備

R5予算案 669,000千円

ここまで良くなってきました

奈良県中央卸売市場再整備の基本方針(令和3年12月)に基づき、卸売機能の高度化や賑わいのある複合拠点整備に取り組んでいます。

- 市場エリア(BtoB)と賑わいエリア(BtoC)の連携等整備アイデアの募集を実施
- 「市場再整備推進会議」において、市場事業者団体と施設要件の協議を実施

【基本方針の概要】

- ・市場エリアと賑わいエリアを一体的に整備する。
- ・市場エリアにおいては、市場機能の効率化・高機能化を図る。
- ・賑わいエリアにおいては、「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点を整備する。
- ・中央卸売市場を核としたまちづくりを行う。
- ・まほろば健康パーク等周辺施設との広域連携や佐保川沿いの空間の活用を推進する。



施設配置レイアウトイメージ

もっと良くするために

中央卸売市場を核とした「食」の拠点づくりに向けて、令和5年度に市場エリア(BtoB)と賑わいエリア(BtoC)の一括整備事業者を募集します。



市場再整備イメージパース



フードホールイメージ

フラワーロードイメージ

子ども広場イメージ

河川テラスイメージ

- R5年度 中央卸売市場再整備の基本方針実施プラン公表
官民連携手法による整備事業者の募集(実施方針・要求水準書(案)公表、入札公告)
市場北側用地の買収
- R6年度 事業契約締結、設計・工事
- R10年度～ 中央卸売市場の順次開業(予定)

※市場機能を維持しながら、現地で建替工事をするため、市場施設及び賑わい施設を順次開業

令和5年度予算案 669百万円

中央卸売市場の再整備

- ①卸売機能 (BtoB)、賑わい創出機能 (BtoC) の整備事業者募集
 - ②市場北側 (駐車場用地等) の買収
 - ③市場北側 (駐車場用地等) の造成に向けた設計、埋蔵文化財調査
- 【今後のスケジュール】

- 令和5年7月
- 令和6年1月
- 令和6年10月
- 令和10年度～

「中央卸売市場再整備の基本方針」実施プラン公表
市場エリア・賑わいエリア一括整備事業者募集(入札公告)
事業契約締結、設計・工事
中央卸売市場の順次開業(予定)
※市場機能を維持しながら、現地で建替工事をするため、市場施設及び賑わい施設を順次開業



市場エリア(BtoB)

賑わいエリア(BtoC)

賑わいエリアイメージ



フードホールイメージ

フラワーロードイメージ

子ども広場イメージ

河川テラスイメージ

中央卸売市場再整備後イメージ

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 21 農業・農地・農村・食と農の振興 (81) NAFIC教育の充実と周辺の整備

R5 予算案 78,902千円

ここまで良くなってきました

NAFICの卒業生から、県内で8名が飲食店を開業、25名が就農するなど、「食」と「農」の担い手として活躍しています。

NAFICの教育機能をさらに高めるとともに、中南部・東部地域活性化のため、令和4年9月に「NAFIC附属セミナーハウス」をオープンしました。

OR3年に再編したカリキュラムに基づき、学生の希望進路に沿った学校教育を実施
OBCC[※]（バスクカリナリーセンター）と連携協定を締結（R4年12月）
※BCC・・・スペイン・バスク地方にある世界的な4年制の料理専門大学
ONAFIC附属セミナーハウスを活用し、県の「食」と「農」の魅力を発信



もっと良くするために

「食」と「農」の担い手を育成するため、「NAFIC附属セミナーハウス」を活用し、NAFICの教育の更なる充実を図るとともに、奈良県の「食」と「農」及び「中南部・東部地域」の魅力を発信し、NAFIC周辺の賑わいづくりを推進します。

ONAFIC実践実習の拡充



○セミナーハウスを活用し、「食」と「農」の魅力発信を強化



○卒業生フォローアップの充実



○セミナーハウス上段部の眺望の良い景観を活かし、民間活力を活用した集客施設の整備を検討



OBCCとの交流事業の実施
短期留学の検討

令和5年度予算案 79百万円

1. NAFICと料理専門大学BCC（バスクカリナリーセンター）との交流（7,531千円）

世界的に著名なスペインの料理専門大学バスクカリナリーセンター（BCC）との連携協定に基づき交流事業の実施

令和4年12月 BCCと連携協定締結
令和5年度 BCC講師による特別講義等交流事業を実施
BCCへの短期留学の検討



2. NAFIC附属セミナーハウスの整備と運営（70,371千円）

令和4年9月
令和5年度

供用開始〔指定管理〕
⑧ 利便性向上のためのエレベータ等整備設計



3. セミナーハウス上段部への集客施設整備に向けた民間事業者誘致（1,000千円）

令和3～4年度 民間事業者へのヒアリング
令和5年度 誘致活動等
令和6年度以降 基本計画の作成
民間事業者公募 等



Ⅶ 豊かな「都」をつくる 22 畜産・水産業振興 (85) みつえ高原牧場の整備

R5予算案 11,000千円

ここまで良くなってきました

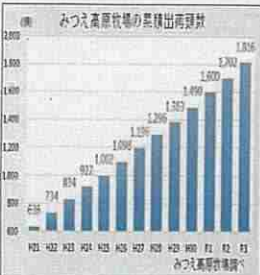
これまで、「優良和牛の畜産の供給・繁殖技術の研究」、「乳牛の育成場所の提供」の役割を果たすとともに、約1,800頭の優良和牛の肥育用子牛を生産・供給してきました。

今後の畜産振興に活かしていくため、未利用地の活用方法を検討してきました。

○新たな役割として「県内生まれの大和牛の生産・育成拠点」、「地域の観光交流拠点」を加えて整備

○東部地域の活性化に寄与するため、H28年9月に御杖村とまちづくりに関する包括協定を締結

○「生産・育成拠点」として、牧場の一部敷地を活用して畜産団地を整備、畜産農家を誘致することとし、R2年度から畜産経営に必要な水源調査を実施

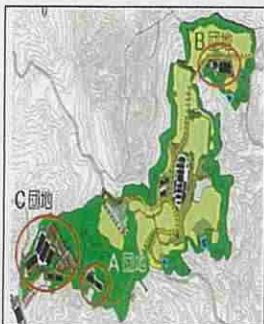


種々のみつえ高原牧場

もっと良くするために

みつえ高原牧場の一部を活用して畜産団地を整備し、畜産農家の誘致を進めます。令和10年度にフルオープンを目指しています。

畜産団地を和牛(大和牛)・乳用牛の生産拠点とすることで、畜産振興と東部地域の振興を図ります。



畜産団地の整備イメージ

○大和牛のさらなるブランド化にあたり、ブランド基準の整理を図り、「生産(出荷)頭数1,000頭以上」を目標として設定
※ブランド基準は、「県内農場で育成」「肉質」「出荷先」等

○堆肥の地域内流通等を進めて耕畜連携を推進する等、家畜糞せつ物の有効活用について検討



畜産団地の牛舎イメージ

○畜産団地の整備に向けた測量及び設計の実施

みつえ高原牧場畜産団地の整備

畜産団地整備(造成工事)の基本・実施設計に向けた地形測量

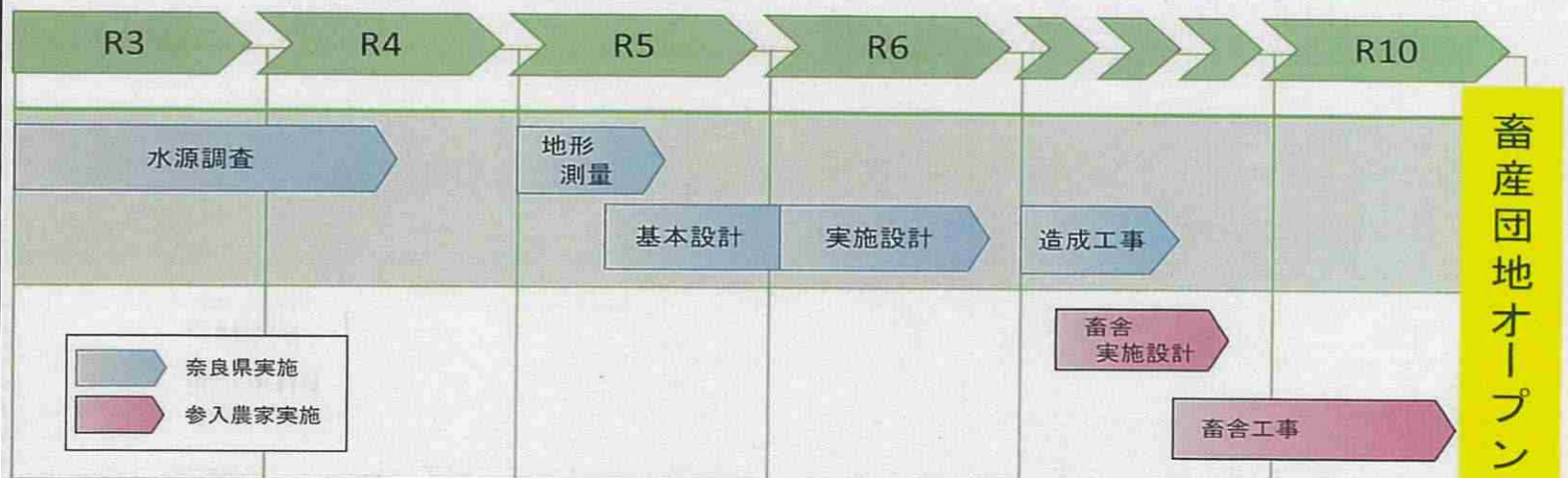


用地の地形測量範囲



畜産団地整備予定区域

みつえ高原牧場の整備スケジュール



Ⅷ 誇らしい「都」をつくる 26 大和平野中央部の振興 (91) 大和平野中央田園都市構想の推進

R5 予算案 3,796,704千円
債務負担行為 4,479,004千円
R4・2月補正予算案 89,860千円

ここまで良くなってきました

民間企業等が参画するコンソーシアム形式による検討会等を開催して議論を深め、「大和平野中央田園都市構想」をとりまとめました。

○大和平野中央田園都市構想とは

- ①大和平野は奈良県発展の中心地、震源地になりうる大和平野中央(磯城郡3町)の田園都市づくりを核として県勢発展のきっかけをつくる
- ②県勢発展の原動力となり得るインフラ整備の政が大和平野中央周辺に押し寄せている
- ③県勢発展の原動力となる「デジタル田園都市」を大和平野中央に建設する
- ④地元や民間の人たちと力を合わせて乗車に輝く大和平野中央を創生する



○大和平野中央田園都市構想の目標

- ①多様で良質な「人材育成と雇用の場の創出」により若者の県外流出を抑制する
- ②デジタル応用技術教育により、高度な人材を育て、県内産業の競争力を強化する
- ③子ども、若者、女性、高齢者、障害者の健康を守り、健康で希望の持てる生涯を実現する(Well-Being)
- ④産業と生活づくりを調和・共生、発展させて、比類ない「デジタル田園都市」を建設する
- ⑤地元からの発想により、民間の人たちと力を合わせて、輝かしい大和平野をつくる



<構想に基づき推進するテーマ>

1. 奈良県立工科大学(仮称)の創設	2. スタートアップヴィレッジの創設
3. 健康長寿の次世代型健康拠点の創設	4. 大和平野中央田園都市構想の推進
5. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	6. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
7. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	8. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
9. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	10. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
11. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	12. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
13. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	14. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
15. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	16. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する
17. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する	18. 健康長寿の次世代型健康拠点を創設する

もっと良くするために

官民連携により大和平野中央田園都市構想を推進します。

- 県と磯城郡3町による協議会を立ち上げ、大和平野中央田園都市構想を推進
- ・構想のテーマに基づく、デジタルを活用するなど先進的な取組の実装を官民が連携して実施
- ・構想の取組を周知するフォーラム等を開催



大和平野中央田園都市構想における拠点整備に関する取組を推進します。

- (仮称)奈良県立工科大学及びスタートアップ支援施設等の整備に必要な基本計画を策定
- 事業用地の取得及び管理
- ウェルネスタウンにおける食と農に関する施設等の整備に必要な基本計画を策定
- 事業用地に関する調査
- ウェルネスタウンの整備・運営手法の検討
- 設計のための縦断測量、埋蔵文化財発掘調査等

<大和平野中央に建設する田園都市>

(1) 知的な大和平野中央を創設する
・(仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ(三宅町 石見地区)

(2) 健康長寿の大和平野中央を実現する
①「まほろば健康パークと連携したウェルネスタウン」(川西町 下永地区)
②「スポーツ施設を核としたウェルネスタウン」(田原本町 阪手北・西井上地区)

(3) 大和平野中央にデジタル田園都市を建設する(場所未定)

令和5年度予算案 3,797百万円 [債務負担行為 4,479百万円]
令和4年度2月補正予算案 90百万円

1. 官民連携による大和平野中央田園都市構想の推進 (R4・2月補正予算案 89,860千円)

(1) 新 県と磯城郡3町による協議会を設置

- ① 構想のテーマに基づく先進的な取組の実装
- ② 民間事業者、有識者、国が参画するコンソーシアム形式のフォーラム開催等による構想推進

2. 大和平野中央田園都市構想における拠点整備の推進 (3,796,704千円、債務負担行為4,479,004千円)

(1) (仮称)奈良県立工科大学及びスタートアップ支援施設等の整備に必要な基本計画(28,608千円)

(2) 新 ウェルネスタウンにおける食と農に関する施設等の整備に必要な基本計画(12,500千円)

(3) 新 ウェルネスタウンの整備・運営手法の検討(72,000千円)

(4) 事業用地の取得及び管理 (3,590,996千円 債務負担行為4,479,004千円)

(5) 事業用地に関する調査(92,600千円)

③ 設計のための縦断測量、埋蔵文化財発掘調査等



<イメージ>「(仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ」
(三宅町 石見地区)



<イメージ>「まほろば健康パークと連携したウェルネスタウン」
(川西町 下永地区)

<イメージ>「スポーツ施設を核としたウェルネスタウン」
(田原本町 阪手北・西井上地区)

※イメージは、構想(案)掲載内容

Ⅸ 爽やかな「都」をつくる 27 奈良モデルの実行 (96) 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり

R5 予算案 507,200千円

ここまで良くなってきました

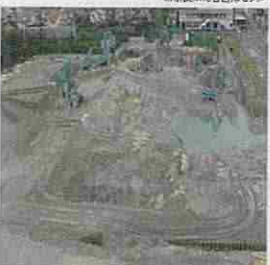
平成30年5月に移転した奈良県総合医療センター跡地について、まちづくりの検討を進めてきました。



新奈良県総合医療センター

○奈良市と連携して奈良県総合医療センターの跡地を活用したまちづくり計画を検討

旧病院建物の除却工事及び関連調査を進めてきました。



旧奈良県総合医療センター(跡地)

○R2年度までに土壌汚染調査や周辺家屋の事前調査などの関連調査を実施
○R3年度から旧病院建物の除却工事に着手

もっと良くなるために

地域包括ケアシステムの拠点づくりをコンセプトとして、県・奈良市連携によるまちづくりを進めます。

<地域包括ケアシステムの拠点づくりをコンセプトとしたまちづくりイメージ>



導入機能(例)

1. 医療・介護・福祉サービスによる包括的なケア
2. 住まい
3. 交流
4. 子育て支援
5. 飲食・物販
6. 健康増進
7. 公園・広場機能
8. 障がい者・高齢者の就労・社会参加

並行して、旧病院建物の除却工事及び関連調査等を着実に進めます。

令和5年度予算案 507百万円

奈良県総合医療センター跡地のまちづくり

スケジュール、取組内容

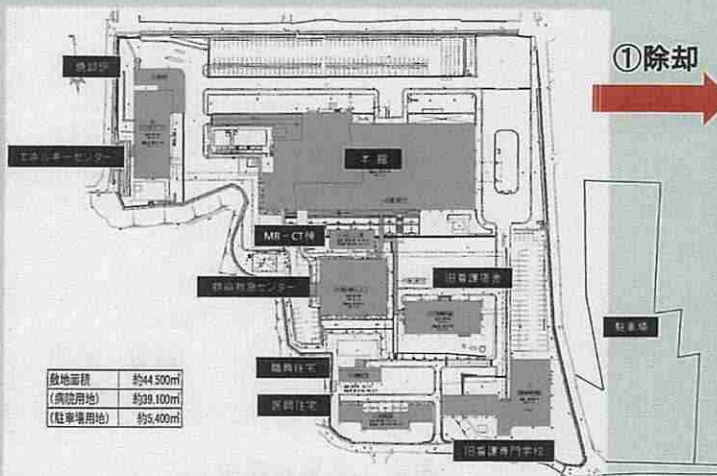
平成29年度～令和3年度 建物除却設計、土壌汚染調査、土壌汚染対策工事
建物除却工事、家屋補償事前調査

令和4年度 建物除却工事

令和5年度 県有地利活用手法検討【県】(6,800千円)
建物除却工事、家屋補償事後調査・補償【病院機構】(500,400千円)



除却工事の進捗状況(R4.12)



旧奈良県総合医療センター

新たなまちづくり

導入機能(例)

1. 医療・介護・福祉サービスによる包括的なケア
2. 住まい
3. 交流
4. 子育て支援
5. 飲食・物販
6. 健康増進
7. 公園・広場機能
8. 障がい者・高齢者の就労・社会参加

Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 27 奈良モデルの実行 (97) 県域水道ファシリティ・マネジメント

R5 予算案 557,363千円
債務負担行為 953,132千円

ここまで良くなりました

人口減少による水需要の減少、施設の老朽化進行、職員減少による技術力低下などの水道事業の課題を解決し基盤強化を図るため、県及び市町村の広域連携「県域水道一体化」の実現に向け取り組んできました。

県域水道一体化が達成できた場合、国の交付金や県の財政支援により、施設の広域化や老朽化対策が更に進みます。



一体化10年間の国・県の財政支援

広域化事業	国交付金 1.3/3	県は、独自に国交付金と同額の財政支援
運営基盤強化等事業	国交付金 1.3/3	

水道施設の老朽化対策を着実に進めることで、将来にわたって安全・安心な水道水を持続的に供給することを目指します。

「県域水道一体化」の検討の経緯

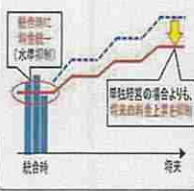
令和2年	1月	県・関係市町村より覚書を締結
	6月	奈良県広域水道企業団設立準備協議会(任意協議会)を設立 以降、令和4年11月にかけて計4回協議会を開催し、一体化に向けて検討・協議
令和4年	11月	第5回協議会 基本計画案・基本協定案について協議
令和5年	2月	第6回協議会 基本計画の決定、基本協定の締結

もっと良くするために

【上水道エリア】令和7年度に市町村水道と県営水道の事業統合を目指します。

○県域水道一体化のメリット

- ・将来にわたる安全・安心な水道水の持続的供給のため、水需要の将来見通しに応じた施設機能の確保、施設の老朽化対策の計画的な推進及びバックアップ機能等を推進
- ・計画的な整備によるコスト削減と国の交付金・県の財政支援の有効活用により、今後増大する施設更新への投資規模を抑制
- ・統合時に料金統一することを基本とし、投資の抑制や国の交付金・県の財政支援の活用により将来の料金上昇を抑制
- ・業務の標準化・システム化、民間委託を進め、県域で適正に人員配置が可能となり、運営体制が強化



○主なスケジュール

令和の年度	令和6年度	令和7年度
一体化に向けた諸課題について継続検討 ・事業統合の準備 (料金システム等の構築、企業団設立許可・水道事業認可に関する県への事前協議等)	・企業団の設立 ・水道事業認可	事業統合

【簡易水道エリア】令和6年度を目途に広域的な共同管理体制の取組を推進します。

○公営企業会計導入にあたり必要となる会計システムの共同整備や国の制度改正対応や技術的支援のための研究会開催により共同管理体制の検討を支援

令和5年度予算案 557百万円
【債務負担行為 953百万円】

1. 上水道エリア (556,196千円、債務負担行為 953,132千円)

広域水道企業団設立(令和6年度)・事業統合(令和7年度)に向けた準備

- ①企業団設立許可、水道事業認可の取得に向けた検討・整理
- ②水道料金体系の設定、施設整備計画の策定
- ③水道料金システム・財務会計システムなど、各種システムの整備 等



御所浄水場

	R2	R3・R4	R5	R6	R7	
効果検証 一体化の 覚書締結		<ul style="list-style-type: none"> <施設整備> 施設整備スケジュール、事業費積算 等 <財政運営> 将来収支、試算による効果検証 等 <業務共同化> 業務実態調査、実地業務検討 等 <システム共同化> システム統一検討、実地スケジュール等 <組織・職員> 組織体制検討、服務給与調査・検討 等 	基本計画策定・基本協定締結	一部事務組合(企業団)設立準備	一部事務組合(企業団)設立 事業統合 (企業団での事業開始)	
		<ul style="list-style-type: none"> <施設整備> 施設台帳システムの検討・事業認可申請に係る整理 等 <財政運営> 水道料金体系の設定、その他財政運営ルール詳細検討 等 <業務共同化> 業務の標準化・共同化の検討 等 <システム共同化> 水道料金システム等、各種システムの整備 等 <組織・職員> 組織体制検討、服務給与調査・検討 等 				

2. 簡易水道エリア (1,167千円)

共同管理体制の検討

- ④簡易水道事業支援
 - ・公営企業会計導入にあたり必要となる会計システムの共同整備
 - ・国の制度改正対応や技術的支援のための研究会開催により共同管理体制の検討を支援



簡易水道広域連携推進研究会

Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 27 奈良モデルの実行 (99) 市町村財政健全化・財政支援の検討

R5予算案 2,741,891千円

ここまで良くなってきました

県内市町村の財政状況は、全国最下位レベルのまま推移していますが、改善傾向が見られます。

OR3年度決算における経常収支比率の県内市町村平均(加重平均)は、前年度比6.1ポイント改善し、全国平均との差も0.6ポイントに縮小



令和元年度決算において、特に緊急を要する奈良市、五條市、宇陀市、平群町、河合町に対し「重症警報」を発令しました。(奈良市、平群町、河合町に対しては、令和3年度決算においても継続)

○県と「重症警報」発令団体等で、財政状況の改善に向けた合同勉強会を開催
○宇陀市、平群町、河合町の3市町について、県による財政支援の要件を満たす財政健全化計画が各市町議会で承認等されたことから、財政健全化の推進に関する協定を締結
○R3年度末に、県から3市町へ財政支援を実施



もっと良くなるために

引き続き、令和元年度に「重症警報」が発令された団体との合同勉強会等の取組を継続します。令和5年度は、奈良市と五條市における財政健全化計画の策定を目指します。

○「重症警報」発令団体に対する財政支援

【対象団体】

・奈良市及び五條市

【支援要件】

- ・「財政健全化計画(経常収支比率を5年間で5.0ポイント以上の改善)」を策定、市議会の承認等を得て公表
- ・抜本的な財政再建と県の財政支援について、県と市との間で協定を締結
- ・毎年度、市議会へ進捗を報告し、公表

【支援メニュー】

- ・市町村振興資金貸付
- ・繰上償還に必要な補償金に対する補助

○奈良モデルの推進

- ・奈良モデル推進補助金
- ・市町村における人材確保、人材育成支援

○徴収率が特に低い固定資産税に関して、納税義務の承継や評価手法等に関する研修を実施

令和5年度予算案 2,742百万円

1. 「重症警報」発令団体に対する財政支援(2,733,000千円)

緊急に改善を要する財政状況にある市町村に「重症警報」を発令市町村と県との合同勉強会により、財政再建策を検討市町村が抜本的に財政再建を行う場合には、県から財政支援を実施

【支援団体】 令和元年度から3年度決算に基づく重症警報5団体のうち、支援要件を満たす財政健全化計画策定には至っていない団体
奈良市、五條市

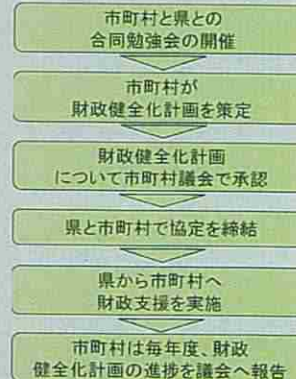
【支援要件】

- ・「財政健全化計画(経常収支比率が5年間で▲5.0ポイント以上の改善)」を策定、市町村議会の承認等を得て公表
- ・抜本的な財政再建と県の財政支援について、市町村と県との間で協定を締結
- ・毎年度、市町村議会へ進捗を報告し、公表

【支援メニュー】

- (1) 公債費平準化のための既発債繰上償還のための無利子貸付
- (2) (1)の公的資金繰上償還に必要な補償金に対する補助
- (3) R5年度事業への市町村振興資金の無利子貸付
- (4) 過年度の市町村振興資金貸付金の返済期間の繰延

財政支援フロー図



2. 奈良モデルの推進(7,390千円)

①奈良モデル推進補助金

市町村同士の広域連携による行財政運営効率化の取組に対する財政支援
補助率：1/2以内

②市町村における人材確保、人材育成支援

○新 専門人材等の確保・育成に関する県・市町村の研究会を開催



奈良県・市町村長サミットでの意見交換の様子(R4.6.9)

3. 市町村税の徴収強化(1,501千円)

③市町村税税収確保連携

○新 徴収率が特に低い固定資産税に関して、納税義務の承継や評価手法等に関する研修を実施
市町村への県職員の派遣



固定資産税の評価実務研修の様子(R4.11.8・11.9)

区 爽やかな「都」をつくる 28 行政マネジメント (100) 県庁版「良い人材が集まり、育つ」職場の実現

R5 予算案 1,343,929千円
 債務負担行為 54,904千円
 R4・2月補正予算案 724,984千円

ここまで良くなってきました

職員がやりがいを持っていきいきと働き、能力を最大限発揮できるよう、「時間管理」「業務管理・改善」「健康管理」「多様で柔軟な働き方」等に取り組んできました。

- 在宅勤務実施者数(延べ) R3.4~12(試行導入)1,367人 → R4.1~9(本格導入)2,089人
- フレックス制利用者数(実人数) R2年度 257人 → R3年度 834人 → R4.4~9 443人
- 男性育休取得率 H28年度 2.6% → R2年度 19.5% → R3年度 39.6%(+20.1ポイント)
- 手書き文字等を電子データに変換するソフトの利用実績
 R2年度 36所属 → R3年度 36所属 → R4.4~9 25所属
- 音声認識ソフトの利用実績 R2年度 93所属 → R3年度 83所属 → R4.4~9 86所属

もっと良くするために

働く人がやりがいを持って、健康でいきいきと働くことができる良い職場づくりを推進するため、令和5年3月に「地域において良い人材を集め育成することを目指した良い職場づくりの推進に関する条例」を制定します。

健康が基本的な価値となる組織の構築

- 客観的な出退勤時間の管理と長時間労働をさせない仕組みの構築
- 未然防止、早期発見、アフターフォロー対策の一貫した総合メンタルヘルス対策

創造性を促し、生産性を高める環境の整備

- デジタル技術も活用した、住民目線での行政サービスの見直し
- フリーアドレスの導入等、業務形態に応じた執務室の整備 等



業務形態に応じた執務室イメージ

組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備

- 職員間のコミュニケーションを活性化させる空間(コミュニケーションスポット)の整備 等



コミュニケーションスポットイメージ

多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備

- 障害者や男女とも、様々なライフイベントの中で柔軟に働ける職場づくり

県民全体への奉仕者として楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成

- 研修プラットフォームの整備、コンテンツ制作を行い、オンラインで効果的な研修を実施 等

令和5年度予算案 1,344百万円(債務負担行為 55百万円)
 令和4年度2月補正予算案 725百万円

令和5年3月「地域において良い人材を集め育成することを目指した良い職場づくりの推進に関する条例」制定予定

1. 健康が基本的な価値となる組織の構築 (40,199千円 債務負担行為54,904千円)

- ① **新** 勤務時間適正管理システム導入
客観的な出退勤時間の管理と長時間労働をさせない仕組みの構築
- ② **新** 総合メンタルヘルス対策
未然防止、早期発見、アフターフォロー
- ③ **新** 職場復帰支援強化
リワークプログラム等による職場復帰支援



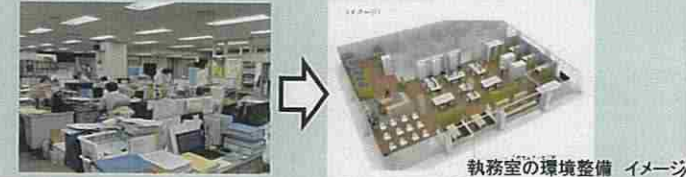
3. 多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備 (399,975千円、R4・2月補正予算案 6,836千円)

- ⑥ 多様で柔軟な働き方の推進
・オンライン会議・テレワーク(モバイルワーク、サテライトオフィス・在宅勤務)の推進
・モバイルパソコン更新等テレワーク環境整備
- ⑦ **新** 多様な人材の確保
デジタルコンテンツによる効果的な採用情報発信



2. 創造性を促し、生産性を高める環境の整備 (709,183千円、R4・2月補正予算案 620,000千円)

- ④ **新** フリーアドレス導入、執務室の環境整備
・情報管理棟執務室でパイロットオフィスを実施
・庁舎内3エリアでWell-beingなオフィスを導入
- ⑤ **新** 情報連携基盤による行政サービスの変革
情報連携基盤(奈良スーパーアプリ)の構築による県民の利便性向上、行政サービス効率化



執務室の環境整備 イメージ

4. 組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備 (115,794千円、R4・2月補正予算案 1,388千円)

- ⑧ **新** コミュニケーションスポットの整備
職員間のコミュニケーションを活性化させる空間(コミュニケーションスポット)の整備
- ⑨ 庁内ネットワーク環境の移行
外部と情報等を円滑にやりとりできるネットワーク環境への移行を検討

5. 県民全体への奉仕者として楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成 (78,778千円、R4・2月補正予算案 96,760千円)

- ⑩ 研修プラットフォームの運営
プラットフォーム運営、コンテンツ制作により、効果的なオンライン研修を実施
- ⑪ 社会変化に対応できる人材の育成
デジタル人材育成研修、海外への派遣研修、コミュニケーションを重視した研修 等

